



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- ・特定復興再生拠点区域における除染等工事全体の進捗は約89%です。

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,373箇所のうち、159箇所ですべて除去土壌等を保管中、1,214箇所ですべて搬出が完了し、884箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、10月末時点で、約908.2万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、10月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器8,233個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2021年10月末時点で、輸送対象物量（帰還困難区域のものを除く）の約85.9%となる、約1,203万 m^3 の除去土壌等を中間貯蔵施設へ輸送しました。
- ・特定復興再生拠点区域において発生した除去土壌等の輸送も順次進めています。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、10月末時点で契約者数1,835人、面積約1,254haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、9月末時点で、約316万トンの搬入を完了しました（うち、約54万トンが焼却処理済、約200万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等について、9月末時点で、約17,400件の解体撤去申請を受付済みであり、約16,700件を解体撤去済みです。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・9月末時点で、約131万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・10月末時点で、200,932袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○**放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（10月実施）**

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、専門家派遣を5回、住民セミナーを19回、車座意見交換会を5回実施しました。
 - ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を11回、移動展示を17回（18日）実施しました。
 - ・内部被ばく検査（WBC）を12日間実施しました。
 - ・ガンマカメラを活用し、仮置場の原状回復後の放射線測定を8台日実施しました。
- ※いずれも、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じて実施しました。

○**帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況**

- ・今年度の捕獲数は、10月末現在でイノシシ819頭、アライグマ232頭、ハクビシン56頭となっています。